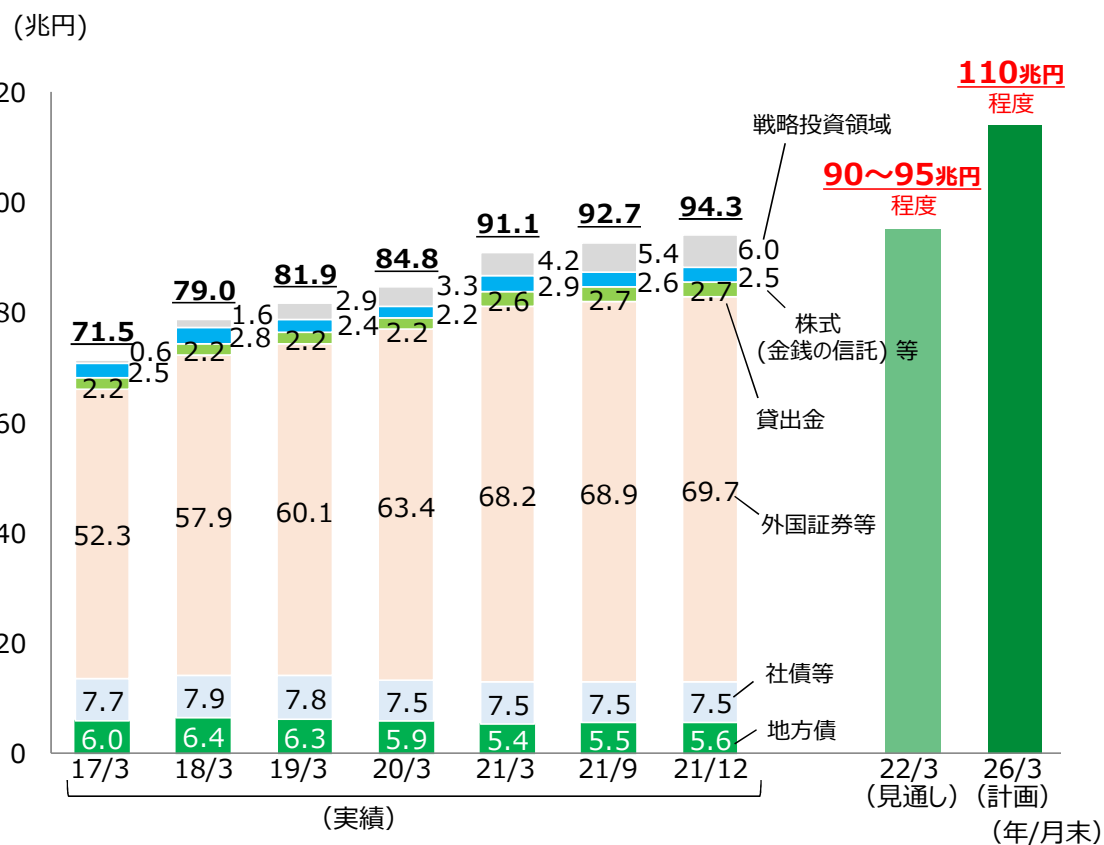


資産運用の状況 ②リスク性資産残高

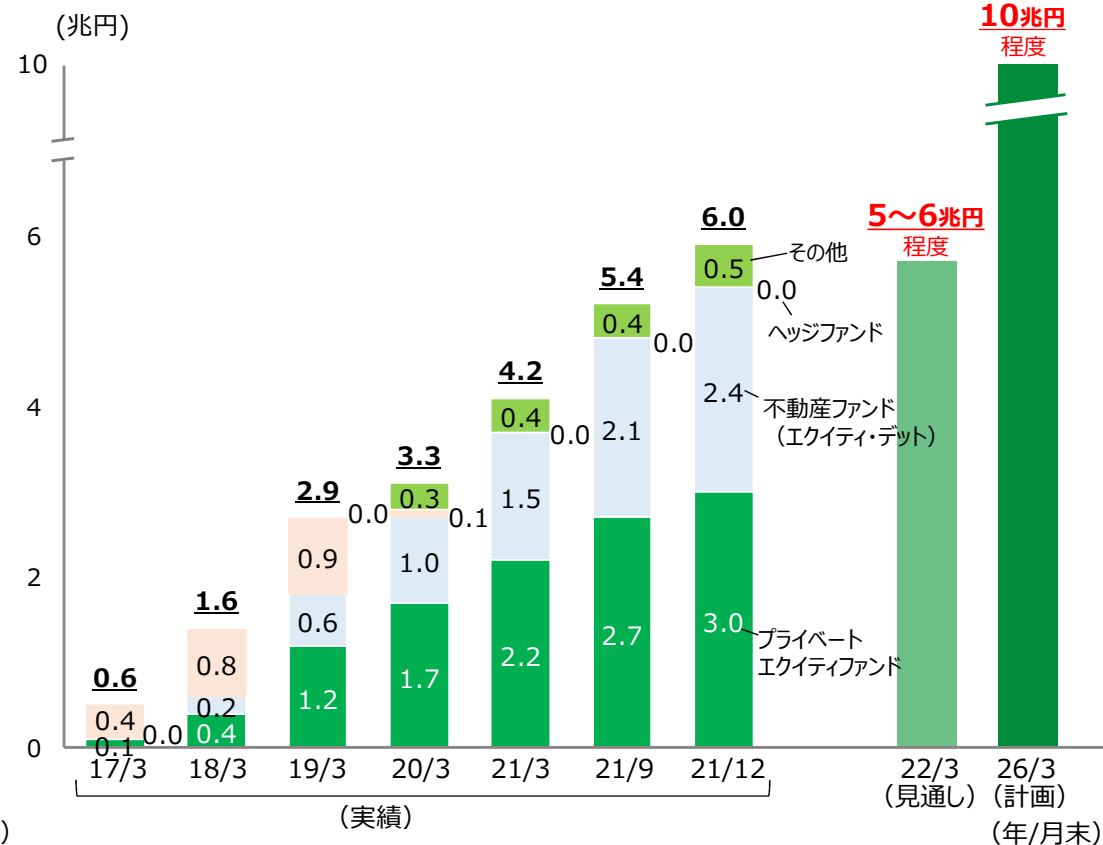
- 21年12月末のリスク性資産※1残高は94.3兆円となり、戦略投資領域※2の残高増加を主因として、21年3月末比+3.1兆円。
- 戦略投資領域残高は6.0兆円と、プライベートエクイティファンド及び不動産ファンドの残高増加を主因として、同+1.8兆円。

リスク性資産残高（単体）



※1 リスク性資産：円金利（国債等）以外の資産

戦略投資領域残高（単体）



※2 戦略投資領域：プライベートエクイティファンド、不動産ファンド（エクイティ・デット）、ヘッジファンド、ダイレクトレンディングファンド、インフラデットファンド等。

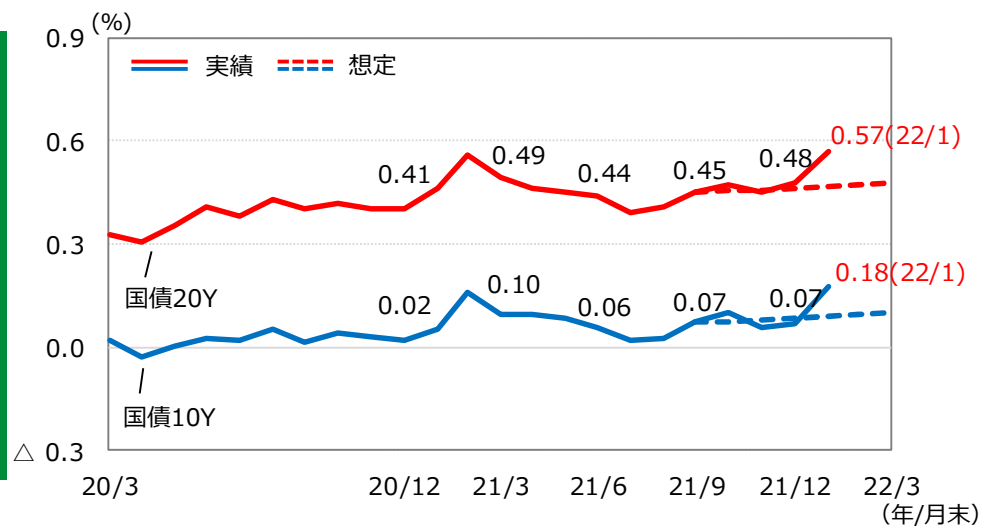
業績予想の前提条件（見直し）

■ 見直し後の業績予想の前提条件は次の通り。

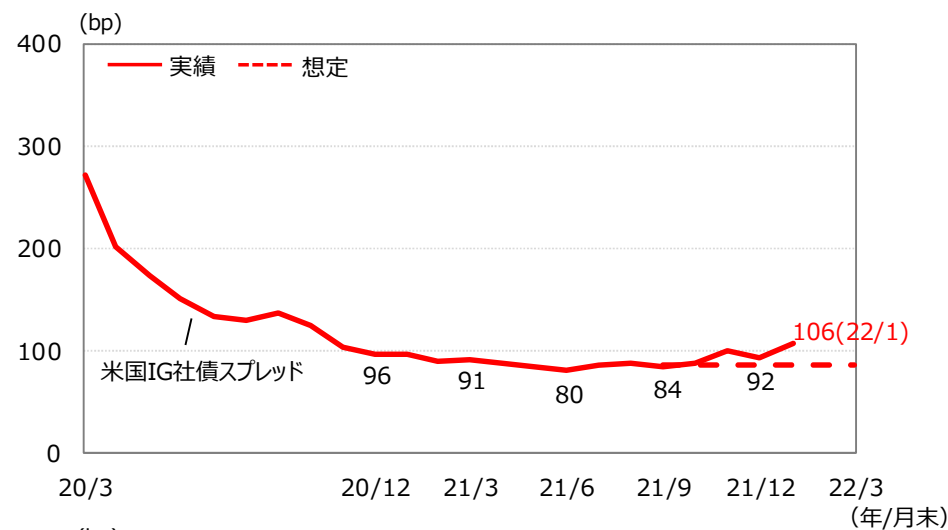
- 内外金利：21年9月末時点のインプライド・フォワード・レートに沿って推移すると想定。
- 海外のクレジットスプレッド：21年度上期の水準で横ばい推移すると想定。
- 為替：21年9月末の水準一定で推移すると想定。

金利等の想定と実績

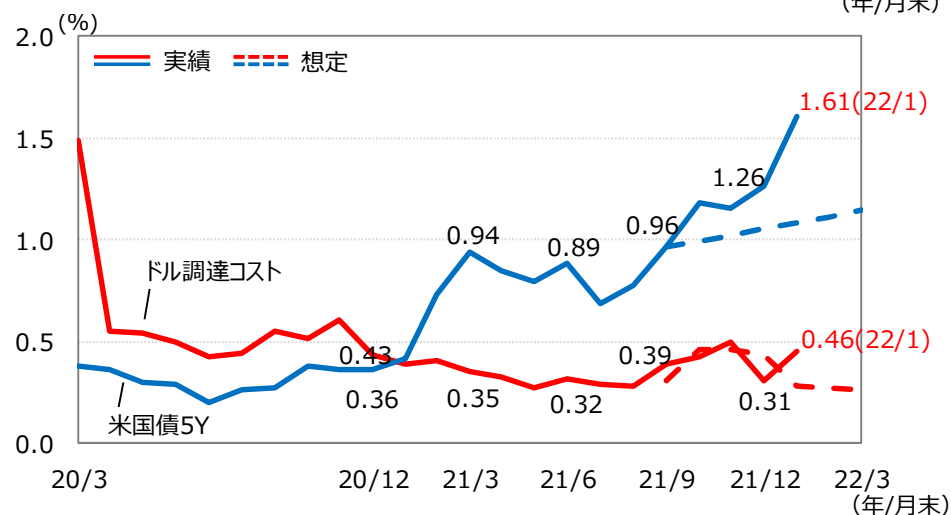
円金利



米国IG社債スプレッド



米金利／ドル調達コスト



米国HY社債スプレッド

